

科目	学年・小学科	単位数
コミュニケーション英語Ⅱ	3年・全学科	3
教科書	World Trek English CommunicationⅡ(桐原書店)	
副教材	数研出版「DUAL SCOPE English Grammar in 22 stages」アルク「キクタン Entry	

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持つとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2. 学習方法

○授業：

①教科書、ワークシート、副教材を利用した個の活動、ペアワーク、グループワーク

英語によるコミュニケーション活動へつながる基礎～応用までを行う。

(例：音読、語彙&表現&構文の学習、文法、サマリー&ストーリーリテリング、コミュニケーション活動など)

②全商英検対策・・・リスニングを集中的に行う。

○予習：年度初めに行ったオリエンテーションの指示通り。*オリエンテーションのプリント確認

○復習：年度初めに行ったオリエンテーションの指示通り。*オリエンテーションのプリント確認

○課題：年度初めに行ったオリエンテーションの指示通り。*オリエンテーションのプリント確認

*各期末考査後にパフォーマンステストを実施します。日頃のアクティビティーの成果を試します。

3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、意欲的に言語活動に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。
②	思考・判断・表現	・英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
③	技能	・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
④	知識・理解	・英語や、その運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化を理解している。
⑤		

科目名	学年・小学科	単位数
コミュニケーション英語Ⅱ	3年・全学科	3

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④		
前期中間	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・文法： S + V (be動詞) + C (that/why～)、関係副詞why、関係代名詞～+前置詞 ・読むこと： アイデア誕生の背景を読み取る。 ・聞くこと： 世界の3つの地域で起きている問題を聞き取る。偉大な発明家についての対話を聞き取る。 ・書くこと： 身のまわりにある事実や問題点を述べる。発明したい製品のアイデアを書く。 					<ul style="list-style-type: none"> ・世界で困っている人たちの問題を改善する。創意工夫に優れたいくつかの発明品の例を読んで、理解しようとしている。世の中の問題を解決する発明品を考え、そのアイデアを簡潔な企画書にまとめようとしている。 ・世界の人びとを救った画期的な製品を生み出したアイデア誕生の背景について読み取ることができる。本文の要点を聞き取ることができる。偉大な発明家についての対話を聞き取ることができる。 ・身のまわりにある事実や問題点を英語で表現することができる。発明したい製品のアイデアを英語で書くことができる。発明した製品のアイデアを企画書にまとめ、発表することができる。 ・S+V (be動詞) + C (=that / whyなどで始まる節) の用法を理解している。関係副詞whyの用法を理解している。関係代名詞～+前置詞の用法を理解している。①日本のポップカルチャーが、日本文化が世界に受け入れられている様子や、その理由の考察を理解しようとしている。 ② 'it was ~ who ...' の形を使って英文を書くことができる ③本文の内容の要点に関する質問を聞いて、答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ペアワーク ②ワークシートの問題正答割合 ③教科書の問題正答割合 ④予習復習状況 ⑤音読テスト ⑦小テスト ⑧期末考査 ⑨パフォーマンステスト ⑩課題の取組
	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> 日本のアニメやマンガの世界的な評価や、日本のポップカルチャーが持つ外交力について読み取る。 ・強調構文の用法 ・挿入の用法 ・seem + to不定詞の用法 	○	○	○	○		
前期末	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ハロウィーンにまつわるシンボルを通じて、この風習の起源について読み取る。 ・the + 形容詞[分詞]の用法 ・関係副詞whenの用法 ・wherever/whenever/howeverの用法 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ①「ハロウィーンといえば思い出すもの」を述べることができる。 ②関係副詞のwherever/whenever/howeverを使って、文を作ることができる ③国内外の「おもしろい祭り」について、その風習の起源などを調べて、クラスに紹介することができる。 ①「自分に大きな影響を与えた人物」を紹介することができる。 ②関係詞の非制限用法を理解している。 ③whatever/whichever/whoeverの用法を理解している。 	

後 期 中 間	Lesson8	あるロボット研究者の夢を実現させようとする意欲にあふれた生き方を読み取る。 ・関係代名詞の非制限用法 ・関係副詞の非制限用法 ・whatever/whichever/whoeverの用法					①「自分に大きな影響を与えた人物」を紹介することができる。 ②関係詞の非制限用法を理解している。 ③whatever/whichever/whoeverの用法を理解している。	①ペアワーク ②ワークシートの問題正答割合 ③教科書の問題正答割合 ④予習復習状況 ⑤音読テスト ⑦小テスト ⑧期末考査 ⑨パフォーマンステスト ⑩課題の取組
	Lesson9	学校へ行くことができなくなったアフリカの少年が、独学して自力で風車を作ることで苦境を打開したいきさつを読み取る。 ・動詞の強調の用法 ・倒置の用法 ・省略の用法	○	○	○	○	①「信じてよ、本当に～したんだから」という文を作ることができる。 ②“If you want to make a dream come true”に続く文を考えて作ることができる。 ③さまざまな代替エネルギーの長所、短所を調べてまとめることができる。	
後 期 末	Lesson10	数多くの困難を克服し、当時世界最大の吊り橋の建設を成し遂げた家族の夢を追う物語を読み取る ・割合を表す表現の用法 ・比較級を使った倍数の表現の用法 ・no less than＋数詞／no more than＋数詞の用法	○	○	○	○	①shouldを使って校内や身のまわりものを改善する案を話すことができる。 ②「努力の末できたうれしいこと」を思い出して話すことができる。 ③「なるべく～したい、そうすれば…できるから」という形で、自分の希望を述べることができる。	